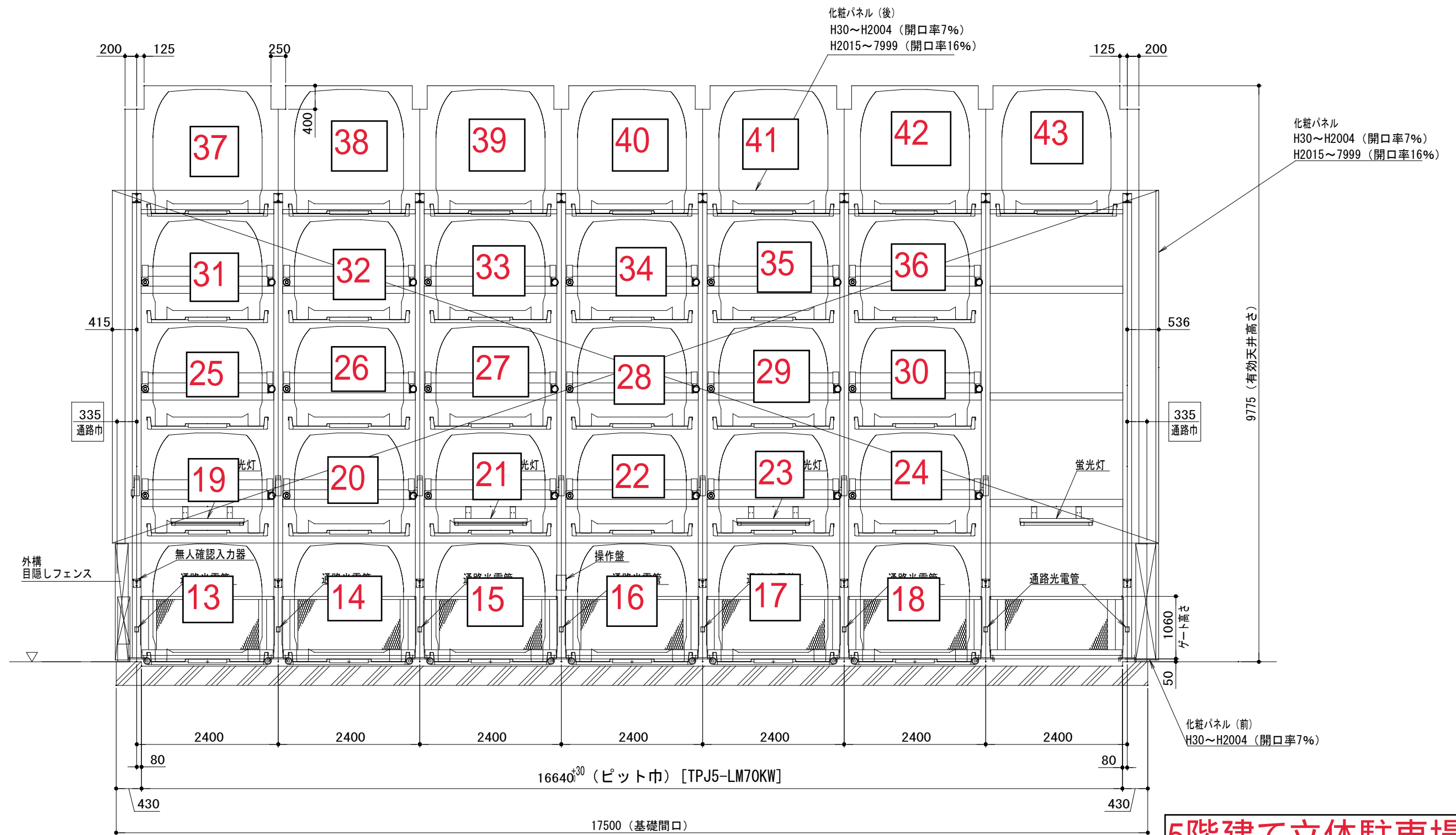


3階建て立体駐車場 ナンバー位置図



5階建て立体駐車場 ナンバー位置図

ShinMaywa

パークテック

機械式駐車装置 取扱説明書

駐車装置を使用中に発生した故障などのトラブル時は、
下記のお客様センターまでご連絡下さい。

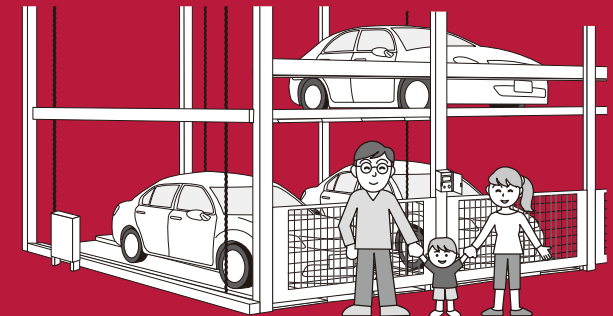
お客様センターは全国共通のフリーダイヤルです。

(フリーダイヤル)

0120-89-1097

※ 365日、24時間体制で対応します。通話料は無料です。

型 名	昇 降 横 行 式	TPB型 TPBW型	地上2段（昇降横行式）
		TPPF型 TPFW型	地上2段・地下1段（昇降横行式・ビット式）
		TPFB型 TPFBW型	地上1段・地下1段（昇降横行式・ビット式）
		TPJ型 TPJW型	地上5～3段（昇降横行式）
		TPK型 TPKW型	地上4～3段・地下1段（昇降横行式・ビット式）
		TPL型 TPLW型	地上4～1段・地下1～3段（昇降横行式・ビット式）
		TPV型	地上5～3段・地下2段（昇降横行式・ビット式）



⚠️ ご注意

本説明書は、昇降横行式の総合取扱説明書です。お使いになられる機種・型式・仕様等をよく確認してからご覧下さい。また、装置をご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、記述された注意事項や操作手順などをよく守ってお使い下さい。お読みになった後は、必要な時にいつでもご参照頂けるようにご使用者が取り出しやすい場所に保管の上ご活用下さい。

※本装置は後進入庫仕様で設計されていますので、




入庫時は、後進で入庫し、後輪を車止めに当てて止めて下さい。

新明和パークテック株式会社



	ページ
『危険』『警告』『注意』表示とマークの意味	3
対象者の定義	4
関連する取扱説明書	4
利用前の注意	5
駐車装置の型式・種類	7
各部の名称	9
各部の名称とセンサーの位置	9
乗降エリア	11
操作盤部の各部の名称	12
入庫できる車の条件	13
操作方法	17
利用の流れ概要	17
操作前場面での注意	19
操作場面での注意	20
作動中場面での注意	21
入退出場面での注意	23
車の運転場面での注意	25
停車場面での注意	28
利用後場面での注意	29
認証番号について	30
通常の入出庫における操作方法	30
非接触型 IC 操作盤 KAZASU について	35
通常の入出庫における操作方法	36
IC カードの登録方法	39
IC カードの削除方法	41
IC カードの検索方法	42
非常停止ボタン使用後の操作方法	43
ゲートのみを開く操作方法（装置内に閉じ込められている人を装置外に出す）	45
災害時の対応	47
災害時の注意	47
トラブル時の対応	50

	ページ
管理者向け	55
管理者の注意	56
IC カードの削除方法	57
IC カードの初期化方法	58
保守点検	59
部品の耐用年数（目安）	60
保証	61
問合せ先	62

危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために誤った取り扱いをすると生じることが想定される危険の内容を、3 つの区分にしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、装置の利用前に十分理解してください。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れの高い、差し迫った内容を示しています。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがあり、車や装置の損傷の恐れがある内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをする恐れや、車や装置の損傷の恐れがある内容を示しています。

お守りいただく内容に関して特に「してはいけないこと」や「しなければならないこと」について述べる際に表示しています。上の 3 つの区分と併せ、装置の利用前に十分理解してください。

 禁止	装置の利用に際し、「してはいけないこと」禁止事項を説明しています。
 指示	装置の利用に際し、「しなければならないこと」指示事項を説明しています。

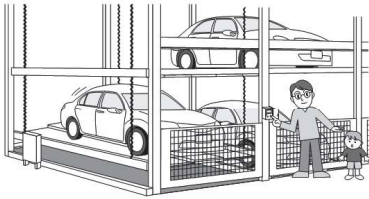
管理者	駐車装置の所有者。マンションの場合は管理組合など。 利用者にこの取扱説明書を渡し、装置の取扱方法を十分に指導してください。正しく取り扱いをすることがで きる利用者の方に利用の許可をしてください。 装置が正常で安全な状態を維持できるよう、専門技術者による点検を委託してください。専門技術者による 点検を受け、必要な措置（部品交換、塗装など）を講じてください。
利用者	駐車装置を操作する人。マンションの住民など。 利用者は事前にこの取扱説明書をよく読み、管理者から取扱方法の指導を受け、許可された上で装置を 利用してください。入庫にお連れの方、第三者の安全確保に責任をもって行ってください。

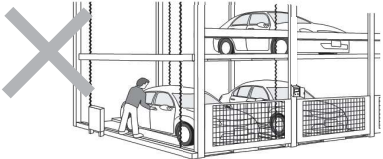
この取扱説明書では、ページの右上に対象の方をマーク **管理者** **利用者** で示します。

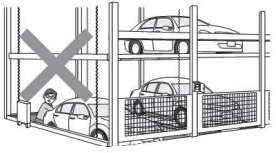
関連する取扱説明書

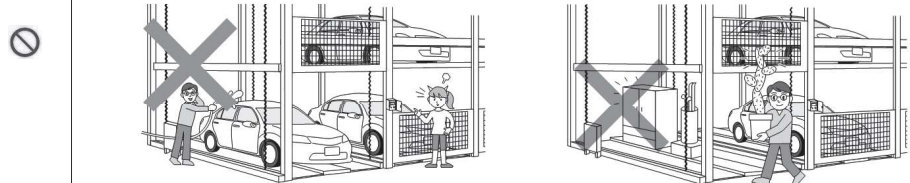
この取扱説明書の他に関連する取扱説明書をお渡しする場合があります。


- TPT 型ターンテーブル取扱説明書
- 電気自動車用充電スタンド取扱説明書
- （その他、納入仕様により関連する取扱説明書をお渡しする場合があります）

⚠ 危険	
<p>● 管理者から許可されていない人は操作しないでください。</p> <p>● 疾病や酒気帯び状態などで状況判断ができない人は操作しないでください。</p> <p>● 危険の判断ができない子供等は操作しないでください。</p>	
<p>● 管理者は装置の取扱方法を十分に指導してください。正しく理解した利用者の方に利用の許可をしてください。</p> <p>● 利用者は事前にこの取扱説明書をよく読み、管理者から取扱方法の指導を受け、許可された上で装置を利用してください。入出庫にお連れの方、第三者の安全確保に責任をもって行ってください。</p>	
● 取扱説明書に記載していない操作をすると、装置が思わぬ作動をして、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	

⚠ 危険	
<p>● 装置の作動中と、停止中も含めて、ゲートやフェンスを乗り越えて侵入しないでください。</p>	
<p>● 車内の荷物を取り出すなどの場合でも、装置内に入る時は必ず操作盤でゲートを開ける操作を行ってください。</p> <p>● 自身の操作キーが操作盤に付いていることで、使用中であることを示してください。</p>	
● ゲート・フェンスを乗り越えて侵入すると、他の方が知らずに操作してパレットに挟まれる振り落とされるなど、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	
▶ こんなときは・・・	
もしもゲートが動かない場合は、装置の管理者かお客様センターに連絡してください。	

⚠ 危険	
<p>● ピット内には入らないでください。</p>	
<p>● パレットの隙間などからの落とし物に注意してください。</p>	
● ピット内に人がいることがわからずに他の人が装置を操作し、パレットに挟まれるなどで、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	
▶ こんなときは・・・	
ピット内に落とし物をしたときは、取りに入らずに、装置の管理者かお客様センターに連絡してください。	

⚠ 危険	
<p>● 装置内で車に乗ったまま待機しないでください。</p> <p>● 装置内で車の点検・修理や洗車をしないでください。</p> <p>● 倉庫や物置として利用しないでください。</p>	
<p>● 装置内で車が故障したときはロードサービス等に連絡し、レッカー・ウインチなどで外に出してから修理してください。</p>	
● 駐車以外の目的のために利用すると、他の方が知らずに操作して、装置に挟まれる、転落するなど、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	
● 装置内やパレット上を倉庫や物置として利用すると、装置の作動中に、物の挟まれ・巻き込まれ・落下などで、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

⚠ 警告	
<p>● 駐車場内は火気厳禁、危険物の持ち込み禁止です。</p>	
<p>● 駐車場ではタバコの火は消してください。</p>	
● 装置の火災や爆発などで、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

■装置内での車の汚れについて

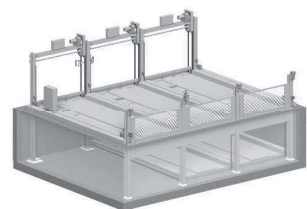
<p>● 装置では保全のため潤滑油を使用していることや、使用によって錆の発生、めっきに白さび^{※1}(亜鉛酸化物)が発生して、環境・天候により飛散し、車に付着することがあります。車に付着した場合は早めに洗車をしてください。</p> <p>● 駐車装置は機械工作物であり、雨水がかからない屋根付き駐車場ではありません^{※2}。装置の構造上、パレット周囲には隙間があり、雨水を遮ることはできません。定期的に洗車をしてください。</p>	
---	--

※1:めっきの白さび(亜鉛酸化物)は、母材を保護するための正常な反応で耐久性・耐食性に影響はありません。

※2:パレットには水はけのためわずかに傾斜をつけてありますが、構造上、傾斜を大きくできないことから、舗装され雨水が浸透する平面駐車場などと比較すると水はけは遅くなるまでに、時間がかかる場合があります。

段数と連数(間口の数)が納入する装置により異なります。型式は装置の操作盤に表示しています。

昇降横行式 パレットが上下左右に移動します。



TPFB 型 地上 1 段地下 1 段



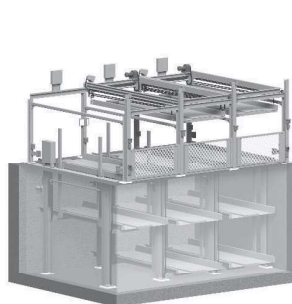
TPF 型 地上 2 段地下 1 段



TPB 型 地上 2 段



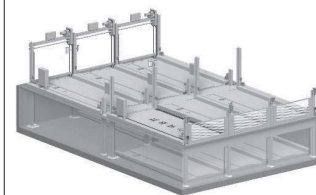
TPJ 型 地上 5～3 段



TPK 型・TPL 型・TPV 型 地上 5～2 段地下 1～3 段

◇TPFB 型は『ピット収納ゲート』、それ以外の型式は『門型ゲート』になります。

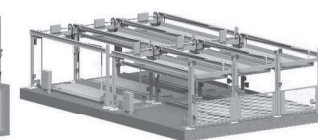
昇降横行 縦列式 パレットが上下左右に移動します。前列装置と後列装置があります。



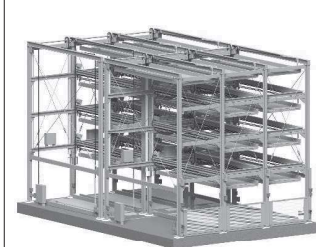
TPFBW 型 地上 1 段地下 1 段



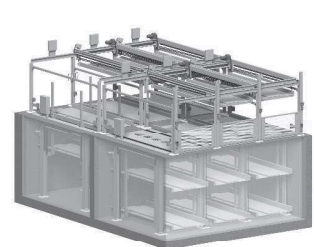
TPFW 型 地上 2 段地下 1 段



TPBW 型 地上 2 段



TPJW 型 地上 5～3 段



TPKW 型・TPLW 型・TPVW 型 地上 5～2 段地下 1～3 段

◇TPFBW 型は『ピット収納ゲート』、それ以外の型式は『門型ゲート』になります。

- 操作盤取付位置は、連数、納入仕様により異なります。
- 操作盤部の無人確認ボタンは液晶タッチパネルに表示されます。
- ゲートには『ピット収納ゲート』と『門型ゲート』があります。

----- :センサーの光軸

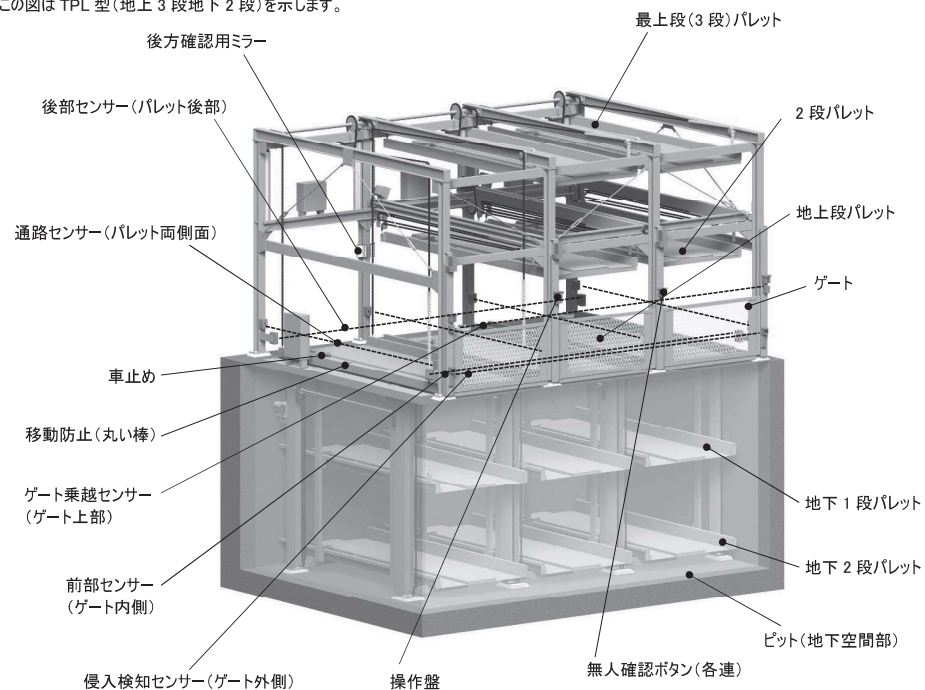
■センサーの検知による作動中の停止について



- 装置外のセンサー（ゲート乗越センサー、侵入検知センサー）は、パレットの作動中に検知するとパレットの作動が停止します。装置の作動中はゲートに近づかないでください。
- 操作キーのキーホルダーなどで、ゲート乗越センサーを検知しないように注意してください。

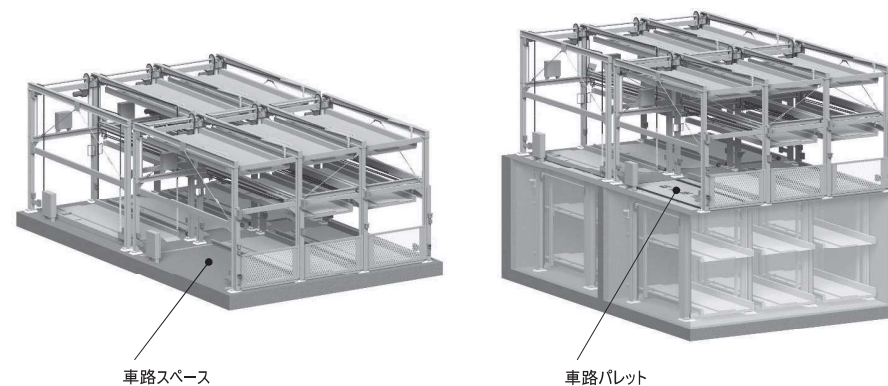
昇降横行式

◇この図は TPL 型（地上 3 段地下 2 段）を示します。



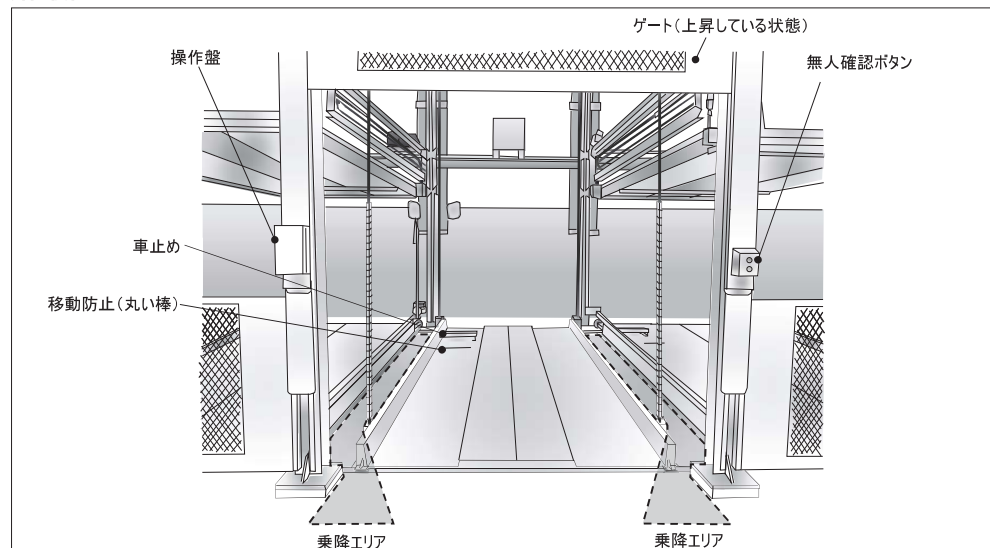
昇降横行 縦列式

各部の名前と各センサーの位置は昇降横行式と同じです。



- 装置内の乗降エリアは下図の [] 範囲内となります。装置内ではこの範囲内を歩行してください。
- 下図は、納入装置の仕様により異なる場合があります。
- ゲートには『ピット収納ゲート』と『門型ゲート』があります。

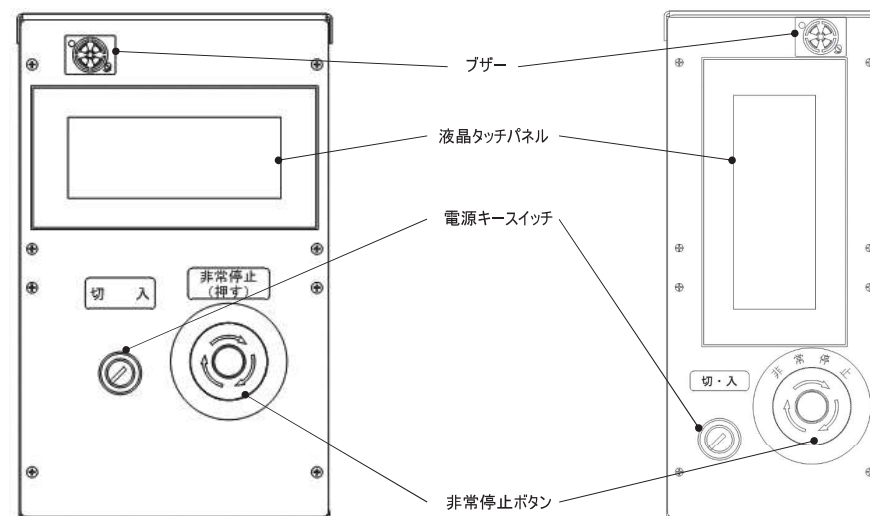
昇降横行式



◇昇降横行 縦列式の後列装置利用時には、前列装置の車路スペース・車路パレット上を歩行してください。

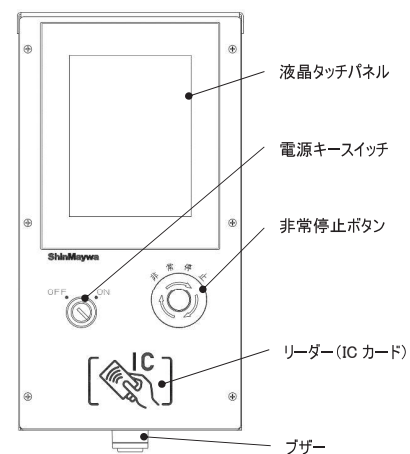
タッチパネル横型

タッチパネル縦型



◇この取扱説明書の[操作方法]の表示画面は横型で説明していますが、縦型もボタン表示は変わりません。

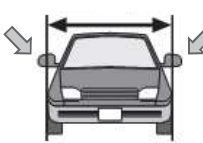


非接触型 IC 操作盤 KAZASU



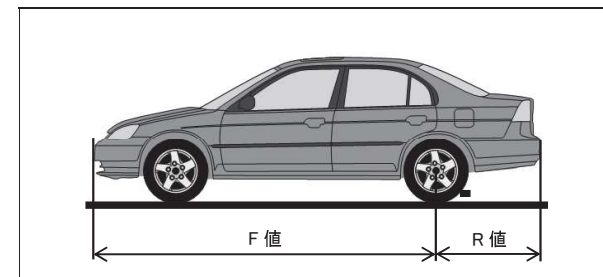
駐車装置に表示されている収容車制限銘板で、収容可能な車の大きさを確認してください。

警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 入庫する車の大きさを自動車検査証で確認し、収容車制限値を超える車を入庫しないでください。 ● 全長が収容車制限値以内であっても、F 値、R 値が装置に表示されている収容車制限値を超える車は入庫できません。 ● スペアタイヤやスキーキャリア、エアロパーツ等の制限を超える付属品を取り付けた車を入庫しないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車検査証に記載の「長さ・幅・高さ」などが収容車制限内であっても自動車検査証記載の数値には許容差があるので、入庫する前に実車を確認してください。 ● 自動車検査証の寸法値には、アンテナ・ドアミラーが含まれていない場合があります。収容車制限内であることを実車にて確認いただくか、自動車メーカーなどに確認して入庫してください。 ● 自動車検査証に記載の「車両重量」と荷物・付属品等積載物の重量を合わせた重量が、収容車制限の重量以下になるようにしてください。 ● 収容車制限内の寸法であっても、ドア下の地上高を実車にて確認いただくか、自動車メーカーなどに確認して入庫してください。特にスライドドアはドア下の地上高が小さい傾向にあります。スライドドアの開閉には特に注意してください。 ● タイヤの空気圧の減少や荷物の積載による地上高低下など、車の変化にも注意してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 重量制限を超える車を駐車すると、チェーンが切れるなどで、パレットの落下や傾くことによる車の転落など、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。 ● 収容車制限を超える車を駐車すると、接触して車と装置が破損する恐れがあります。 ● 最低地上高制限よりも床下部が低い車を入庫させると、車の床下部とパレットに接触して車と装置を破損する恐れがあります。 ● 収容車制限内であっても、車のドア開閉時にパレットなど装置にドア下が接触してしまう場合があります。 	

自動車検査証の寸法値には、アンテナ・ドアミラーが含まれていない場合があります。収容車制限内であることを実車にて確認いただくか、自動車メーカーなどに確認して入庫してください。

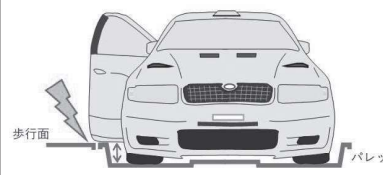
	自動車検査証の全幅	自動車検査証の全高	自動車検査証の全長
			
!	ドアミラーを含めて全幅制限内であることを確認してください。	アンテナを含めて全高制限内であることを確認してください。	スペアタイヤを含めて全長制限内であることを確認してください。

全長が収容車制限値以内であっても、F 値、R 値が装置に表示されている収容車制限値を超える車は入庫できません。



最低地上高制限よりも床下部が低い車を入庫させると、車の床下部とパレットに接触して車と装置を破損する恐れがあります。^{※1}

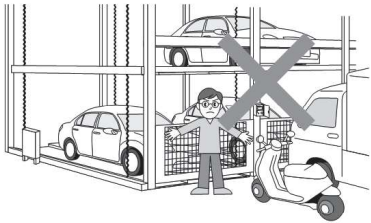
収容車制限内であっても、車のドア開閉時にパレットなど装置にドア下が接触してしまう場合があります。^{※2}

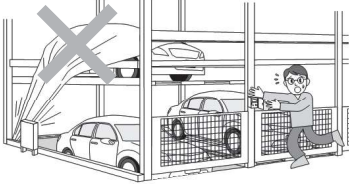
		
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 収容車制限内の寸法であっても、ドア下の地上高を実車にて確認いただくか、自動車メーカーなどに確認して入庫してください。特にスライドドアはドア下の地上高が小さい傾向にあります。 ● タイヤの空気圧の減少や荷物の積載による地上高低下など、車の変化にも注意してください。 	

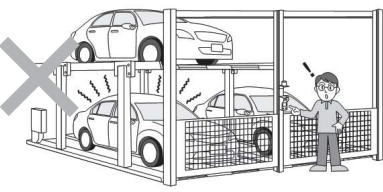
※1 装置前面通路に勾配または段差等がある場合は、入庫できる車の全高または最低地上高に制限が追加される場合があります。


※2 必要なドア下寸法の目安（納入装置の特別仕様により異なる場合があります）

200mm 以上	・TPL 型の地下 3 段タイプの地下パレット ・パレットヒータ付の装置
180mm 以上	上記以外の装置

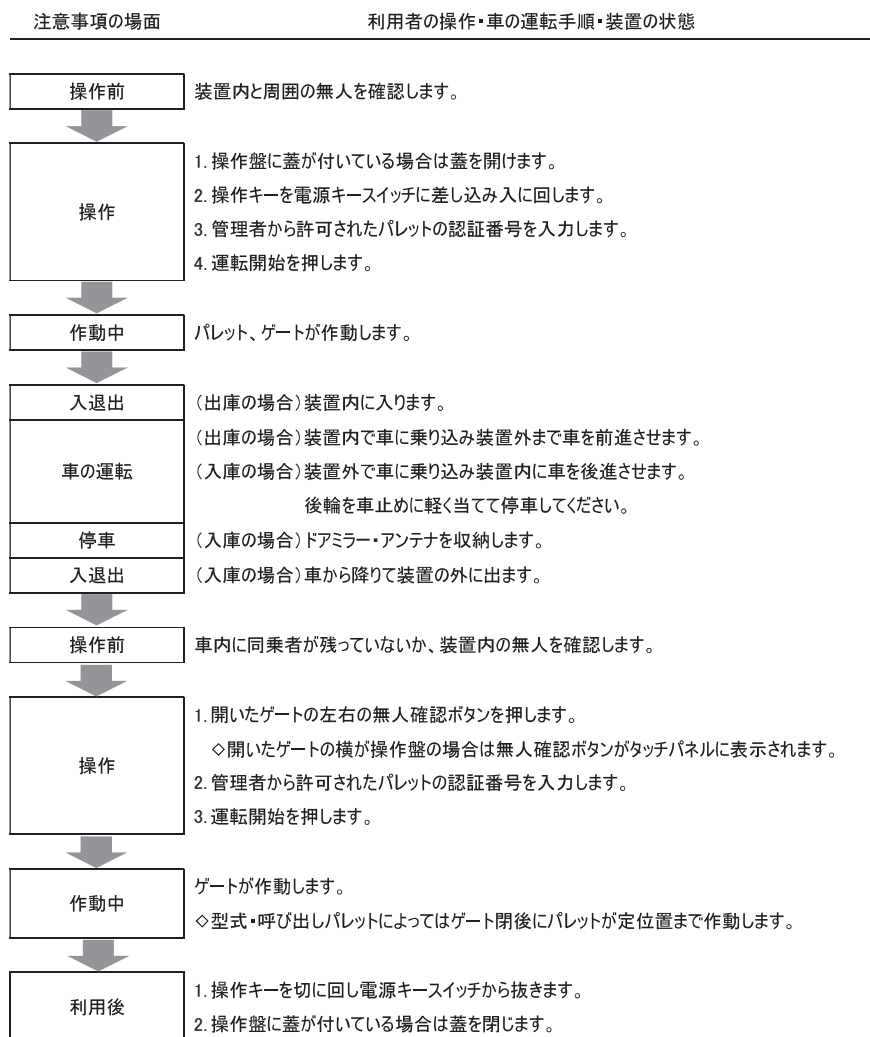
⚠ 警 告	
!	<ul style="list-style-type: none"> ●乗用車のみを駐車してください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●トラックを停めると、装置の作動中に荷物が転倒・落下し、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。 ●二輪車を停めると、装置の作動中に転倒・落下し、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。 	

⚠ 注 意	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ●装置内で車のボディカバーは使用しないでください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●ボディカバーが車から外れて装置に巻き込まれ、車や装置が損傷する恐れがあります。 	

⚠ 注 意	
!	<ul style="list-style-type: none"> ●車の盗難防止装置などは切にしてください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●車の盗難防止装置等は、装置が作動した時の揺れを検知して、警報が鳴り続ける恐れがあります。 	

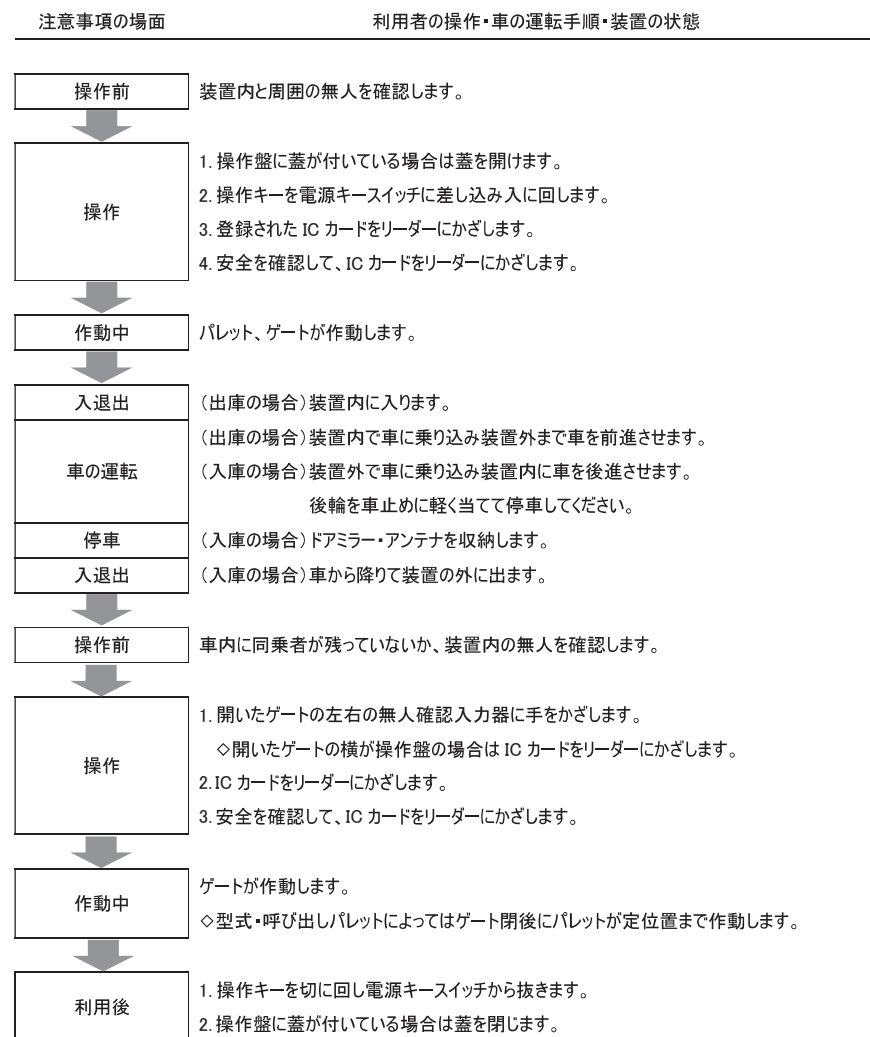
⚠ 注 意	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ●装置内でタイヤチェーンは使用しないでください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●パレットの傷・発錆により劣化を早める可能性があります。 	

利用の流れ概要【タッチパネル操作盤】



操作方法【タッチパネル操作盤】は、30 ページを確認してください。

利用の流れ概要【非接触型 IC 操作盤 KAZASU】



操作方法【非接触型 IC 操作盤 KAZASU】は、36 ページを確認してください。

⚠ 危険	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置内に人がいるときは操作しないでください。 ● 操作盤に他の人の操作キーが付いている場合や、前面ゲートが開いている場合は、中に人がいる可能性があります。絶対に操作しないで、前の人が操作を終了するまで待ってください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作前に装置内の無人を確認してください。
● 装置内に人がいる状態で操作すると、パレットに挟まれる振り落とされるなどで、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	

▶ こんなときは・・・


もしも、装置内に閉じ込められている人がいる時は、装置の管理者かお客様センターに連絡してください。緊急に装置内に閉じ込められた人を装置外に出すことが必要で、装置内のセンサーを検知したままの状態になっている場合は、【ゲートのみを開く操作】により閉じ込められた人を出してください。

⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置の間近に人がいるときは操作しないでください。 ● 特に子供が近づかないようにしてください。
● 周囲にいる人が装置に触れてしまい、人が怪我をする恐れがあります。	

⚠ 危険	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 車の中から装置を操作しないでください。
● 車の中から装置を操作し、周りの安全を十分確認できないことで、思わぬ異常の発生時にすぐに装置を停止できずに、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	

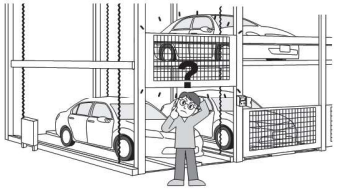
⚠ 注意	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 短時間に小刻みなボタン操作をしないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作盤・タッチパネルは指で操作してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 鍵の先など硬いもので画面をタッチすると、装置が損傷する恐れがあります。 ● 短時間に小刻みなボタン操作を繰り返すことで、装置が故障する恐れがあります。 	

⚠ 危険	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置の作動中は、操作盤から離れないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常が発生したら、すぐに非常停止ボタンを押してください。 
● 異常の発生時、すぐに装置を停止できず、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	

⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● ゲートの作動中は装置内に入らないでください。 ● ゲートが完全に開き停止することを確認するまで装置内に侵入、および入庫をしないでください。 
!	<ul style="list-style-type: none"> ● ゲートが完全に開き停止することを確認してから装置内に入ってください。 <p><ピット収納ゲートの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ピット収納ゲートでは、完全に開き停止する前に跨いで侵入すると、『つまずいて転倒』や『途中位置で停止したまま出庫したため車とゲートが接触し破損』する恐れがあります。特に注意してください。
● 作動中のゲートに挟まれ・巻き込まれるなど、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

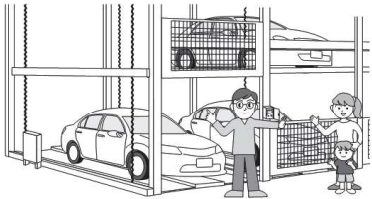
▶ こんなときは・・・

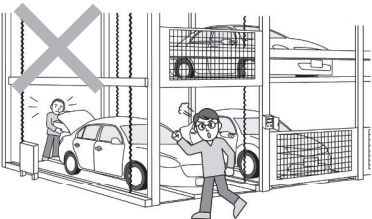
ゲートの作動中にセンサーを検知すると、昇降位置によってゲートは停止します。センサーの検知により途中位置で停止してしまった場合は、安全を確認し、再度操作盤から運転操作を行ってください。


⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● ゲートが途中停止した場合は、ゲートの下（ピット収納ゲートの場合は上）に近づかず、ゲートに触れないでください。 ● ゲートに物を挟み停止した場合は、挟んだ物を取ろうとしないでください。 
● ゲートが途中停止した場合に、触って動かそうとすると、突然ゲートが動いて手や身体が巻き込まれる恐れ、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

▶ こんなときは・・・


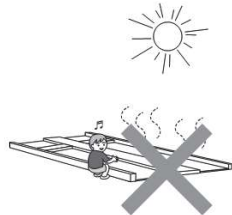
ゲートが途中停止した場合は、装置の管理者かお客様センターに連絡してください。


⚠ 危険	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理者から許可されていない人を装置内に入れないでください。 
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 同乗者は、装置の外で車の乗り降りをさせてください。 ● 子供等、装置外で待機することが危険な場合は、装置内で手を引くなど行動を共にしてください。
● 取扱方法を理解されていない方が装置内に入ると、パレットに挟まれるなどで、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	


⚠ 危険	
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置内からは速やかに退出してください。 ● 荷物の積み降ろしは装置外で行ってください。 ● 万が一閉じ込められてしまった場合、クラクションを鳴らす、大声で注意を喚起するなどして、外の人に存在を伝えてください。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 次の利用者が気付かずに装置を作動させ、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。 ● 閉じ込められてしまった場合に、あわてて外に出ようとして、パレットに挟まれる振り落とされるなどで、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。 	

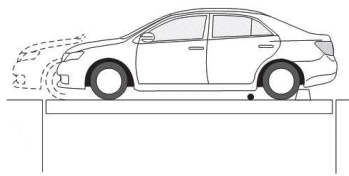
⚠ 警告	
⊘	● 裸足、ハイヒール、スリッパ、サンダル等の履物で装置内に入らないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置内を歩くときは、足元に注意してください。 ● 乗降エリアを歩いてください。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 装置内の段差につまずいて転倒し、人が怪我をする恐れがあります。 ● パレット上で滑って転倒し、人が怪我をする恐れがあります。 	


⚠ 警告	
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置内を歩くときは、頭上に注意してください。 ● 乗降エリアを歩いてください。
● 装置内の上部の突起物に頭をぶつけ、人が怪我をする恐れがあります。	


⚠ 警告	
⊘	● 装置内の部品には触れないでください。
	 
!	● 装置内に入るときは、衣類がチェーン・ワイヤーなどに触れないように注意してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 装置内の部品などに触れて手を切るなど、人が怪我をする恐れがあります。 ● 制御盤を開ける、ケーブルに触れるなどで感電し、人が怪我をする恐れがあります。 ● 夏季など日照の強い時に、パレットに触れると、火傷をする恐れがあります。 ● 装置内のチェーン・ワイヤーなどに触れると、衣類が汚れる恐れがあります。 	

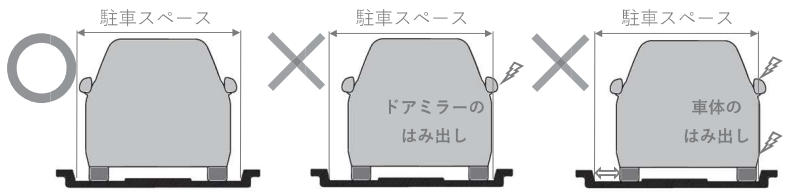
⚠ 危険	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 車から顔や手など身体を出して運転しないでください。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 車から身体を出して運転することで、装置の支柱など構造物に頭や手をぶつけて、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。 	

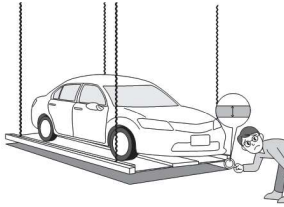
⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● 車の運転は、急加速・急減速・急ハンドルはしないでください。 ● 車止めは車で乗り越えないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 後進でゆっくりした速度で運転してください。 ● ブレーキとアクセルのペダル踏み間違いに注意してください。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 車と装置が接触して、損傷する恐れがあります。 ● 装置の後方が低くなっている場合や歩道などがある場合は、後部フェンスを突き破り車ごと後方に転落・飛び出すると、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。 ● 車止めを乗り越えると車や装置が損傷する恐れがあります。 	

⚠ 警告	
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 後輪を車止めに軽く当てて停車してください。 ● 車がパレットからはみ出していないか確認してください。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 車がパレットからはみ出したまま作動することで、車や装置が損傷する恐れがあります。 ● 前部センサー・後部センサーなどは、車の形状によってパレットからはみ出しを検知しない場合があります。 	

⚠ 警告	
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車ブレーキをかけてください。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車ブレーキをかけ忘れた場合に、装置の作動で車が動いて、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。 	

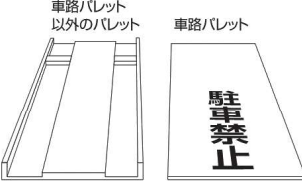
⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● パレット両側の高くなっている部分にタイヤを接触させないでください。 ● パレット以外の部分に車を乗り上げないでください。 
<ul style="list-style-type: none"> ● パレットの位置がずれて、隙間ができることで、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。 	


⚠ 注意	
!	<ul style="list-style-type: none"> ● パレット中央に駐車し、駐車スペースからはみ出していないことを確認してください。  <ul style="list-style-type: none"> ● 『ドアミラーを格納しても車体幅より突出してしまう』『車体幅よりタイヤ外幅が小さい』車では、特に注意してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● パレットの左右に片寄って駐車し駐車スペースからはみ出していると、装置が作動した時に接触して、車や装置が損傷する恐れがあります。 	


⚠ 注意	
<p>●パレットの乗り入れ面と地上面の段差が大きいときは入庫しないでください。</p>	
<p>●パレットの乗り入れ面と地上面の段差が大きい時に入庫すると、車や装置が損傷する恐れがあります。</p>	

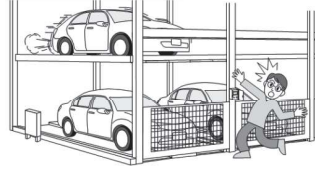
▶ こんなときは・・・

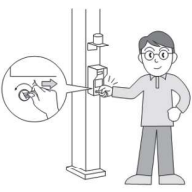
パレットの乗り入れ面と地上面の段差が大きい時は、装置の管理者かお客様センターに連絡してください。

⚠ 注意	
<p>●車路パレット・車路スペースには駐車しないでください。</p>	
<p>●管理者から許可された、決められたパレットに駐車してください。</p>	
<p>●車路パレット・車路スペースに駐車すると、次の利用者が気付かず装置を作動させ、車や装置が損傷する恐れがあります。</p>	

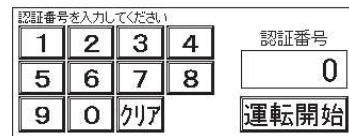
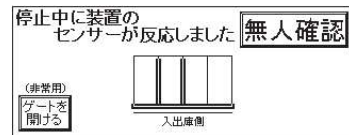
⚠ 警告	
<p>●ゲートが開いて装置内に入るまでは、車のリモコンキーを使わないでください。</p>	
<p>●車のドアは完全に閉めてください。</p>	
<p>●ドアが不安定なまま装置が作動すると、振動で開き接触し脱落するなどで、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。</p>	


⚠ 注意	
<p>●アンテナ・ドアミラーは格納してください。</p> <p>●入庫時はドアミラーなどが装置に接触しないように注意してください。</p>	
<p>●アンテナ・ドアミラーを格納しないまま、装置が作動すると、車や装置が損傷する恐れがあります。</p>	

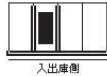

⚠ 注意	
<p>●エンジンをかけたまま駐車しないでください。</p> <p>●ゲートが開いて装置内に入るまでは、車のリモコンキーを使わないでください。</p>	
<p>●車のエンジンをかけたままにすると、装置の作動の振動で動き出し、車や装置が損傷する恐れがあります。</p>	

警告	
!	<ul style="list-style-type: none"> ●装置の利用後はゲートを閉めてください。 ●利用後は操作キーを抜いてください。 ●操作盤に蓋が付いている場合は操作が終わったら蓋を閉じてください。
	
<ul style="list-style-type: none"> ●ゲートを開けたままにすると、誰でも装置内に入れてしまい、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。 ●操作キーを差したままにすると、管理者から許可されていない人や第三者が操作してしまい、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。 	

- 駐車装置を利用中に他の利用者が誤って操作し、利用中の方が装置内に閉じ込められる事故がないよう、車の入出庫後、ゲートを閉じる操作時に、パレット呼出し時と同じ認証番号を再度入力する仕様となっています。
- 駐車装置を操作するために必要な認証番号をパレット毎に個別に設定しています。
 - ◇認証番号はあらかじめ決まっており、変更することはできません。
 - ◇装置が複数箇所ある場合は、別の装置で同じ番号を使用することがあります。
- 認証番号を忘れてしまうと操作ができません。
- 認証番号を忘れてしまった場合は、管理者にお問合せください。
 - ◇お客様センターでは利用者からのお問合せに応じることができません。

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
1	<p>装置内無人確認・周囲の安全確認を行い、電源キースイッチにキーを差し込み“入”まで回します。</p> <p>◇電源キースイッチが“切”の状態では画面は表示されません。</p>			
2	<p>車を入出庫させるパレットに割り当てられた認証番号を数字キーにて入力し、「運転開始」ボタンを押します。</p> <p>数字キーを押し間違えた場合は「クリア」ボタンを押してから再度入力します。（作動開始後はクリア出来ません）</p> <p>◇登録されていない番号の場合、「運転開始」ボタンを押しても作動せずに番号表示が「0」に戻ります。</p> <p>◇認証番号入力中に10秒以上操作がないと表示が「10」に戻ります。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇電源「入」にして、右記の画面が表示された場合、認証番号入力前に再度装置内の無人確認が必要です。</p> <p>（電源「切」時、または「入」にした後にセンサーが検知）</p>			
	<p>操作盤画面の「無人確認」ボタン、またはランプが点滅している各「無人確認」ボタンを押し、全て消灯させないと次の操作へ進めません。ボタンを押す前に確実に無人確認を行い、万が一装置内に人がいた場合、ゲートを開いて必ず退出させてください。</p>			

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
3	<p>装置が作動します。</p> <p>◇装置の作動中は操作盤から離れず、危険や異常を感じた場合は「非常停止」ボタンを押して装置を停止させてください。</p> <p>◇作動開始後の数秒間は右下に認証番号が表示されますが、その後、表示は消えます。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇装置に近づいてセンサーが検知すると装置が停止します。</p> <p>無人確認を行い、「無人確認」ボタン、「安全確認」ボタンを押して、手順2で入力した認証番号と同じ番号を再入力してください。（途中で操作を選択する画面が出た場合は画面に従い操作してください）</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇作動開始後数秒以内に「前部センサー」を遮ると左の画面が表示されるとともにパレットの作動を中断し、操作前の位置までパレットが戻ります。</p> <p>「確認」ボタンを押して、手順 2 で車のはみ出しがあるパレットに割り当てられた認証番号でパレットを呼び出すとゲートが開きます。車のはみ出しが他の利用者の車の場合は、管理者に連絡の上、車を正しい位置に駐車しなおすか出庫してもらうよう依頼してください。「前部センサー」を遮る障害物がある場合は取り除いてください。</p>			<p>装置動作中</p> <p>異常を感じた場合は、非常停止ボタンを押してください</p> <p>センサーが反応したため装置が停止しました 無人確認</p>  <p>入出庫側</p>
				<p>光電センサー検知</p> <p>【 前部 】</p>
				<p>車のはみ出しを検知しました</p> <p>確認</p>

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
4	<p>パレットが入出庫位置に停止後、装置前面ゲートが開きます。装置が完全に停止し、「装置内進入中」の画面が表示されている事を確認してから車の入出庫を行ってください。</p> <p>入庫の場合</p> <p>装置内の安全を確認してから車をバックでパレットの所定の位置に入庫してください。サイドブレーキを掛けてからドアミラーをたたみ、車から降りてドアを確実にロックしてください。</p> <p>出庫の場合</p> <p>周囲の安全を確認してから車を出庫させてください。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇入出庫後、右記の画面が表示されたままの場合は、車のはみ出しや、装置内に人がいる可能性があります。</p> <p>車の停止位置、装置内の無人確認を行ってください。また、センサーを遮る障害物等がある場合は取り除いてください。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇装置の後方や入出庫するパレットの両側面以外のセンサーを遮ると、右記の画面が表示されます。</p> <p>該当場所の無人確認を行った上で、操作盤画面、またはランプが点滅している箇所の「無人確認」ボタンを押し、全て消灯させてください。ボタンを押す前に確実に無人確認を行い、装置内の人は必ず退出させてください。</p> <p>◇途中でセンサーを遮ってしまうと、それまでのボタン入力が無効となり、再度ランプが点滅します。</p> <p>▶ こんなときは… 【ゲート2か所開け・TPV 型のみ】</p> <p>装置内に入退出するときに、開いたゲートから入りにくい場合、左右どちらかのゲートを開くことができます。【TPV 型のみ】</p> <p>開けるゲートを「左」「右」ボタンで選択したあと、「運転開始」ボタンを押します。</p>			<p>装置内進入中</p> <p>入出庫中の利用者以外は操作禁止</p> <p>退出後、装置内の無人を確認して、「無人確認」ボタンを押してください 無人確認</p> <p>センサー反応中</p>  <p>入出庫側</p> <p>入出庫に関係しない場所のセンサーが反応しました 無人確認</p>  <p>入出庫側</p> <p>追加で開けるゲートを選択後、「運転開始」ボタンを押してください</p> <p>左 右</p> <p>を開ける を開ける</p> <p>進入 運転開始</p>

選択した2枚目のゲートも開きます。

◇閉じる時は2か所目に開けた側から1枚ずつ順番に閉じます。ゲートの作動中は近づかないでください。

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
5	<p>装置から退出後、装置内およびゲート周囲の無人確認を確実に行った上で、開いているゲートの左右2箇所と、操作盤画面の「無人確認」ボタンを押します。（装置後方確認の補助としてミラーも活用）</p> <p>◇開いたゲート横に操作盤がある場合、画面に「無人確認」ボタンが表示されます。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇縦列タイプの装置で、後列のパレットを呼び出したにも関わらず前列のセンサーのみ遮り、後列のセンサーをひとつも遮らなかった場合に右の画面が表示されます。車路パレットに誤駐車をしている可能性があるため、次の操作に進めないようになっています。</p>			<p>後列のセンサーを検知していません</p> <p>入出庫が正しく行われていない 可能性があります</p>
6	<p>「安全確認」ボタンを押した後、「ゲート閉」ボタンを押します。</p>			<p>操作を続ける場合は 「安全確認」紐を押してください</p> <p>再度装置内に入る場合は「進入」紐 を押してください</p> <p>安全確認</p> <p>ゲートを閉める場合は 「ゲート閉」紐を、 再度装置内に入る場合は 「進入」紐を押してください</p> <p>ゲート閉 進入</p>
7	<p>手順 2 で入力した認証番号を数字キーにて再度入力し、「運転開始」ボタンを押します。</p> <p>◇手順 2 で入力した認証番号と異なる番号を入力した場合「運転開始」ボタンを押しても、作動せずに番号表示が「0」に戻ります。</p> <p>◇再度装置内に入る場合は「進入」ボタンを押して手順 5 に戻ります。</p>			<p>呼出時の認証番号を再入力してください</p> <p>認証番号</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 クリア 進入 運転開始</p>

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
8	<p>ゲートが閉まります。（機種や呼出したパレットによってはゲート停止後にパレットが戻る作動を行います）</p> <p>◇装置の作動中は操作盤から離れず、危険や異常を感じた場合は「非常停止」ボタンを押して装置を停止させてください。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇装置に近づいてセンサーが検知すると、ゲートが途中で停止したり、再度開きます。また、ゲートが閉じた後にパレットが作動する装置ではパレットが停止します。</p>			<p>装置動作中</p> <p>異常を感じた場合は、 非常停止紐を押してください</p>
9	<p>無人確認を行い、「無人確認」ボタン、「安全確認」ボタンを押して、手順2で入力した認証番号と同じ番号を再入力してください。（途中で操作を選択する画面が出た場合は画面に従い操作してください）</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇ゲートが閉まりゲートが停止後、パレットが戻る作動をする際に、作動開始後数秒以内に「前部センサー」を遮るとパレットの作動を中断し、操作前の位置までパレットが戻ります。</p>			<p>光電センサー検知</p> <p>〔 前部 〕</p> <p>車のはみ出しを検知しました</p> <p>確認</p>
	<p>「確認」ボタンを押して、車のはみ出しがあるパレットに割り当てられた認証番号で、手順 2 からの操作でパレットを呼び出し、ゲートが開いたら車を正しい位置に駐車しなおしてください。</p> <p>収容車諸元を超える車を駐車した場合は出庫させてください。また、「前部センサー」を遮る障害物がある場合は取り除いてください。</p>			<p>装置が定位置になった後、手順 2 の画面に戻ります。</p> <p>電源キースイッチを“切”にしてキーを抜き取ります。</p> <p>◇右の画面以外が表示されている場合や装置の作動中、装置が定位置外の場合はキーを抜くことはできません。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇キーを「切」にする前に装置に近づいてセンサーを遮ると、操作盤画面に「無人確認」ボタンが表示され、キーを「切」に出来なくなります。「無人確認」ボタン、「安全確認」ボタンを押した後に「切」にしてください。</p>

非接触型 IC 操作盤 KAZASU では、登録された IC カードをリーダーにかざすことで自動的に装置が作動します。認証番号の入力が必要ありません。IC カードを忘れた場合は、テンキー操作にて操作可能です。

- IC カードで利用する場合も操作には電源キーが必要になります。
 - 携帯電話・スマートフォンは FeliCa チップが搭載された機種のみご利用可能です。
 - FeliCa チップ搭載の有無は端末メーカーに確認してください。スマートフォンによっては登録できないものもあります。
- “FeliCa”とはソニーが開発した、非接触型 IC カード技術方式“FeliCa”はソニーの登録商標です。

取扱説明項目	説明内容
通常の入出庫における操作方法	登録された IC カードを使用した、入出庫における操作方法の説明
非常停止ボタン使用後の操作方法	IC カードを使用した操作で非常停止ボタンを使用後の操作方法の説明
IC 情報の登録・削除・検索方法	IC カードの登録・削除・検索方法の説明
IC 情報の削除・初期化方法管理者用	ICカードを使用しない場合パレットの使用者が変更になる際などの説明

！ 注意

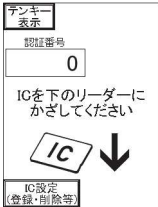





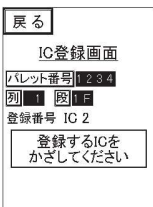
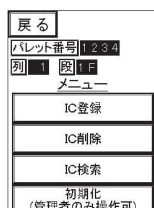
- 非接触型 IC 操作盤 KAZASU では、入出庫が終わりゲートを閉める操作をする場面で、初めの呼び出し操作に使用した IC カードが必要になります。IC カードは利用中に紛失・破損しないようにしてください。特にピットへの落とし物に注意してください。
- 異常・故障時に、装置の管理者やお客様センターに連絡する際に、パレット番号の連絡が必要になる場合があります。自身が利用するパレット番号（登録した IC カードのパレット番号）を忘れないようにしてください。

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
1	<p>装置内無人確認・周囲の安全確認を行い、電源キースwitchにキーを差し込み“入”まで回します。</p> <p>◇電源キースwitchが“切”の状態では画面は表示されません。</p>			
2	<p>IC カードをリーダーにかざして認証します。装置内の安全を確認後、同じ IC をもう一度かざして装置を起動します。</p> <p>◇装置起動後は他の IC カードで認証出来ません。</p> <p>◇未登録のICカードをかざした場合、認証を受け付けません。番号表示が「0」となります。</p> <p>◇ICカードを1回かざした後に10秒経過すると入力値が「0」に戻り、認証が無効となります。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇電源「入」にして、右記の画面が表示された場合、装置起動前に再度装置内の無人確認が必要です。</p> <p>（電源「切」時、または「入」にした後にセンサーが検知）</p> <p>操作盤画面の「無人確認」ボタン、またはランプが点滅している各無人確認入力器に手をかざし、全て消灯させないと次の操作へ進めません。ボタンを押す前に確実に無人確認を行い、万が一装置内に人がいた場合、ゲートを開いて必ず退出させてください。</p>			
3	<p>装置が作動します。</p> <p>◇装置の作動中は操作盤の前で作動を監視してください。危険や異常を感じた場合はすぐに「非常停止」ボタンを押してください。装置の作動が止まります。</p> <p>◇作動開始後の数秒間には真ん中にパレット番号が表示されますが、その後、表示は消えます。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇装置に近づいてセンサーが検知すると装置が停止します。</p> <p>無人確認を行い、「無人確認」ボタン、「安全確認」ボタンを押して、呼出時と同じ IC カードをかざしてください。（途中で操作を選択する画面が出た場合は画面に従い操作してください）</p>			<p>装置動作中</p> <p>異常を感じたら「非常停止」鈕を押して下さい</p>

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
4	<p>パレットが入出庫位置に停止後、装置前面ゲートが開きます。装置が完全に停止し、「装置内進入中」の画面が表示されている事を確認してから車の入出庫を行ってください。</p> <p>入庫の場合</p> <p>装置内の安全を確認してから車をバックでパレットの所定の位置に入庫してください。サイドブレーキを掛けてからドアミラーをたたみ、車から降りてドアを確実にロックしてください。</p> <p>出庫の場合</p> <p>周囲の安全を確認してから車を出庫させてください。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇ 入出庫後、右記の画面が表示されたままの場合は、車のはみ出しや、装置内に人がいる可能性があります。</p> <p>車の停止位置、装置内の無人確認を行ってください。また、センサーを遮る障害物等がある場合は取り除いてください。</p>			<p>装置内進入中</p> <p>乗降中の利用者 以外は操作禁止 退出後、装置内の 無人を確認の上、 呼出時と同じ ICをかざす もしくは「無人確認」鈕を 押してください</p> <p>無人確認</p> <p>センサー 反応中</p> <p>駐車室 ゲート前</p>
5	<p>装置から退出し、装置内とゲート周囲の無人確認を確実に行った上で、出入口の両脇にある無人確認入力器に手をかざし、操作盤のリーダーは呼出時と同じ IC カードをかざします。</p> <p>◇ 装置の後方はミラーを併用して確認を行ってください。</p> <p>◇ 呼出時と異なる IC カードをかざしても次の画面に進みません。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇ 装置の後方や入出庫するパレットの両側面以外のセンサーを遮ると、右記の画面が表示されます。</p> <p>該当場所の無人確認を行った上で、操作盤画面、またはランプが点滅している箇所の無人確認入力器に手をかざして、全て消灯させてください。ボタンを押す・IC カードをかざす前に確実に無人確認を行い、装置内の人は必ず退出させてください。</p> <p>◇ 途中でセンサーを遮ってしまうと、それまでの入力が無効となり、再度ランプが点滅します。手順5をやり直してください。</p>			<p>入出庫に関係ない 場所のセンサーが 反応しました</p> <p>無人確認</p> <p>駐車室 ゲート前</p>

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
6	<p>呼出時と同じ IC カードをかざします。(安全確認)</p> <p>◇ 呼出時と異なる IC カードをかざしても次の画面に進みません。</p>			<p>再度装置内に入る場合は「進入」鈕を押してください</p> <p>進入</p> <p>装置内の安全を確認の上、呼出時と同じ「ICをかざす」もしくは「安全確認」鈕を押してください</p> <p>安全確認</p>
7	<p>呼出時と同じ IC カードを再度かざして装置を起動します。</p> <p>◇ 呼出時と異なる IC カードをかざしても作動しません。</p> <p>◇ 再度装置内に入る場合は「進入」ボタンを押して手順 5 に戻ります。</p> <p>◇ 10秒経過すると番号表示が「0」に切り替わり、認証が無効となります。この場合は、呼出時と同じ IC カードで再認証してください。</p>			<p>進入</p> <p>認証番号 1 2 3 4</p> <p>装置内の安全を確認後、同じICをかざしてください 装置が動き出します</p> <p>IC ↓</p>
8	<p>ゲートが閉まります。(機種や呼出したパレットによってはゲート停止後にパレットが定位置まで移動します)</p> <p>◇ 装置の作動中は操作盤から離れず、危険や異常を感じた場合は「非常停止」ボタンを押して装置を停止させてください。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇ 装置に近づいてセンサーが検知すると、ゲートが途中で停止したり、再度開きます。また、ゲートが閉じた後にパレットが作動する装置ではパレットが停止します。</p>			<p>装置動作中</p> <p>異常を感じたら「非常停止」鈕を押して下さい</p>
9	<p>無人確認を行い、「無人確認」ボタン、「安全確認」ボタンを押す・かざして、呼出時と同じ IC カードをかざしてください。(途中で操作を選択する画面が出た場合は画面に従い操作してください)</p> <p>装置が定位置になった後、手順 2 の画面に戻ります。</p> <p>電源キースイッチを“切”にしてキーを抜き取ります。</p> <p>◇ 右の画面以外が表示されている場合や装置の作動中、装置が定位置外の場合はキーを抜くことはできません。</p> <p>▶ こんなときは…</p> <p>◇ キーを「切」にする前に装置に近づいてセンサーを遮ると、操作盤画面に「無人確認」ボタンが表示され、キーを「切」に出来なくなります。「無人確認」ボタン、「安全確認」ボタンを押す・かざした後に「切」にしてください。</p>			<p>テンキー表示 認証番号 0</p> <p>ICを下のリーダーにかざしてください</p> <p>IC ↓</p> <p>10設定 (登録・削除等)</p>

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
1	<p>キースwitchにキーを差し込み “入” まで回します。</p> <p>◇初期画面が表示されます。</p> <p>◇電源キースwitchが “切” の状態では画面は表示されません。</p>			
2	<p>操作画面上の「IC 設定」 ボタンを押します。</p>			
3	<p>パレット番号を数字キーにて入力し、「決定」ボタンを押します。</p> <p>数字キーを押し間違えた場合は「クリア」ボタンを押してから再度入力します。</p> <p>◇登録されていない番号の場合、「決定」ボタンを押してもメニュー画面には移らずに番号表示が「0」に戻ります。</p> <p>◇「戻る」ボタンを押した場合、初期画面に戻ります。</p>			
4	<p>「IC 登録」ボタンを押します。</p> <p>◇「戻る」ボタンを押した場合、初期画面に戻ります。</p>			
5	<p>未登録のIC番号を選択して、「決定」ボタンを押します。</p> <p>◇1つのパレットに対して 5 件の IC カード情報を登録できます。</p> <p>◇IC が登録済の場合、「登録済」とIC が未登録の場合、「未登録」とIC 番号の下に表示されます。</p> <p>◇登録済の番号を選択して「決定」ボタンを押した場合、次の画面には移りません。</p> <p>◇「戻る」ボタンを押した場合、操作手順 4 のメニュー画面に戻ります。</p>			

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
6	<p>登録番号を確認後、登録する IC をかざします。</p> <p>◇「IC 情報を登録しました」と表示され、登録完了です。</p> <p>◇「戻る」ボタンを押した場合、操作手順 5 の画面に戻ります。</p>			
7	<p>登録後メニュー画面に戻るので、「戻る」ボタンを押します。</p> <p>◇初期画面に戻り登録を終了します。</p>			

1～3 の手順は『IC カードの登録方法』と同じです

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
4	「IC 削除」ボタンを押します。 ◇「戻る」ボタンを押した場合、初期画面に戻ります。			
5	「IC をかざして削除」ボタンを押します。 ◇「IC No.選択削除」は管理者のみが選択可能です。			
6	削除する IC カードをかざします。 ◇「IC 情報を削除しました」と表示され、削除完了です。 ◇「戻る」ボタンを押した場合、操作手順 5 の画面に戻ります。			<div> </div>
7	削除後メニュー画面に戻るので、「戻る」ボタンを押します。 ◇初期画面に戻り削除を終了します。			

1～3 の手順は『IC カードの登録方法』と同じです

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
4	「IC 検索」ボタンを押します。 ◇「戻る」ボタンを押した場合、初期画面に戻ります。			
5	検索したい IC をかざします。 ◇登録済の IC カードの場合は登録済と表示され、パレット番号、列、段、登録番号が表示されます。未登録の場合は未登録と表示されます。			
6	検索終了後、「戻る」ボタンを押します。			<div> </div>
7	もう一度、「戻る」ボタンを押します。 ◇初期画面に戻り検索を終了します。			

非常停止ボタンについて



非常停止ボタンを押すと、装置が停止するとともにボタンがロックされ、電源が切れます。この状態では液晶タッチパネルには何も表示されず^{※1}、操作は出来ません。

※1 一部の型式では「非常停止」の画面が表示されます。

<非常停止ボタンの解除方法>

安全確認を行った後、非常停止ボタンを矢印の方向（右方向）に回すことでボタンが手前に戻り、ロックが解除されて電源が入り、液晶タッチパネルにも画面が表示されます。（◇矢印は非常停止ボタン本体にも表示されています。）

その後は、以下の「非常停止ボタン使用後の操作方法」に従い操作してください。

手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
----	--------	--------	-------	------------

1	非常停止ボタンを矢印方向（右方向）に回して、ロックを解除します。 ◇非常停止が押されてロックされた状態では画面が消灯しています。（一部の型式では「非常停止」の画面が表示されます。）
---	---

2	A: 危険な状態や異常の原因が明らかで、それらが解決した場合は「安全確認」ボタンを押してください。 B: 人の接近により危険を感じ非常停止させた場合は、人が装置から離れたのを確認し「安全確認」ボタンを押してください。 ●装置を運転するのが危険と思われる場合は、管理会社・保守会社へ連絡してください。 ◇安全確認ボタンを押したあと、一時的に「運転待機中」の画面が表示されることがあります。
---	--

3	装置前面ゲートが閉じていない場合 車の入出庫を行う場合は「ゲート開」ボタンを押します。操作を終了し、キーを抜ける状態にする場合は「ゲート閉」または「復帰」ボタンを押します。 ◇機種や装置の状態により、「ゲート閉」の代わりに「復帰」ボタンが表示される場合があります（ゲートを閉じた後、装置を定位置に戻す操作です） 装置前面ゲートが閉じている場合 車の入出庫を行う場合は「入出庫」ボタンを、操作を終了し、キーを抜ける状態にする場合は「復帰」ボタンを押します。 ◇機種や装置の状態により、右記のような操作を選択する画面が表示される場合があります。
---	---




手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
----	--------	--------	-------	------------

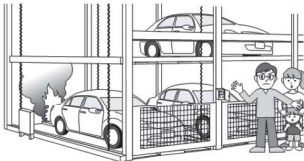
4	テンキー入力でパレットを呼び出し操作した場合 パレット呼出時に入力した認証番号を再度入力し、「運転開始」ボタンを押します。入力を間違えた場合は「クリア」ボタンを押してから再度認証番号を入力します。 ◇呼出時に入力した認証番号と異なる番号を入力した場合「運転開始」ボタンを押しても、作動せずに番号表示が「0」に戻ります。 IC カードをかざしてパレットを呼び出し操作した場合 呼出時と同じ IC カードをかざします。 ◇呼出時にかざしたカードと異なる IC カードをかざしても作動しません。 再度同じ IC カードをかざして装置を起動します。			<p>呼出時の認証番号を再入力してください</p> <p>戻る</p> <p>認証番号 0</p> <p>呼出時のICをかざしてください</p>
5	装置の作動が再開します。			装置動作中 異常を感じた場合は、非常停止ボタンを押してください


復旧後は、通常時の操作手順により操作をしてください。

- もしも、装置内に閉じ込められている人がいる時は、装置の管理者かお客様センターに連絡してください。
緊急に装置内に閉じ込められた人を装置外に出すことが必要で、装置内のセンサーを検知したままの状態になっている場合は、
【ゲートのみを開く操作】により閉じ込められた人を出してください。
- 利用のパレットが地上面にある場合でも、通常時は、【通常の入出庫における操作方法】により、操作を行ってください。

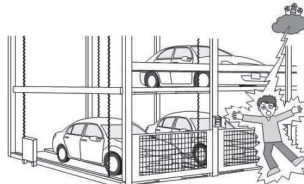
手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
1	電源キースイッチを差し込み“入”まで回します。			
2	「ゲートを開ける」ボタンを押します。	<div>停止中に装置のセンサーが反応しました</div> <div>無人確認</div> <div>(非常用) ゲートを開ける</div> <div></div> <div>入出庫側</div>		
3	「▲」ボタンを押して、開けるゲートの列を選択して、「設定」ボタンを押します。	<div>ゲートを開く列を選択してください</div> <div>ゲート開操作中</div> <div>左から 1 列目</div> <div>▲ ▼</div> <div>設定</div> <div>戻る</div>		
4	認証番号※ ¹ を数字キーにて入力し、「運転開始」ボタンを押します。 ※ ¹ この操作盤に登録されている認証番号(利用しているパレットの番号)のみで操作できます。	<div>認証番号を入力してください</div> <div>ゲート開操作中</div> <div>認証番号</div> <div>0</div> <div>1 2 3 4</div> <div>5 6 7 8</div> <div>9 0 クリア 戻る 運転開始</div>		
5	選択した列のゲートが作動して、ゲートが開きます。 ◇装置の作動中は操作盤から離れず、危険や異常を感じた場合は「非常停止」ボタンを押して装置を停止させてください。	<div>装置動作中</div> <div>異常を感じた場合は、 非常停止ボタンを押してください</div>		
6	装置内に閉じ込められた人を装置外に出してください。			

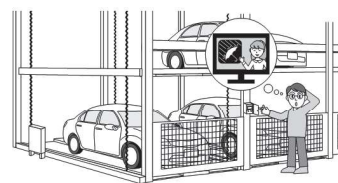
手順	利用者の操作	車の運転手順	装置の状態	タッチパネル表示画面
7	装置から退出後、装置内およびゲート周囲の無人確認を確実に行った上で、点滅している「無人確認」ボタンと、操作盤画面の「無人確認」ボタンを押します。			
8	「安全確認」ボタンを押した後、「ゲート閉」ボタンを押します。			
9	手順 4 で入力した認証番号を数字キーにて再度入力し、「運転開始」ボタンを押します。			
10	ゲートが閉まります。 ◇装置の作動中は操作盤から離れず、危険や異常を感じた場合は「非常停止」ボタンを押して装置を停止させてください。			
11	装置が定位置になった後、数字キー入力の画面に戻ります。			

⚠ 警告	
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 火災発生時はすみやかに作動を停止させて、安全な場所に避難、消防に連絡し、その指示に従ってください。 ● 火災発生時、消火設備が手動の場合は、消火設備取扱説明書に従い、消火設備を起動のうえ装置から退避してください。
	
● 装置内で火災が発生した場合に、車に燃え広がるなどで火傷し、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

⚠ 警告	
⊘	● 強風 ^{※1} 時は利用しないでください。
	
● 強風 ^{※1} 時に装置を作動させると、車とパレットの揺れで装置が思わぬ作動をして、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

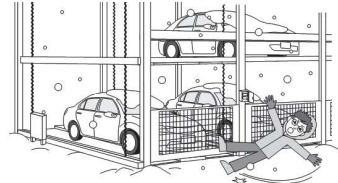
※1 強風の目安：風に向って歩きにくくなる。傘がさせない。樹木全体が揺れるなど（気象庁より）

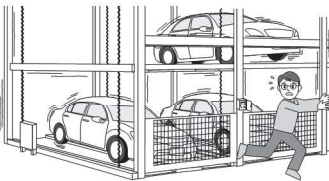
⚠ 警告	
⊘	● 雷雨時は利用しないでください。
	
● 雷雨時に装置を利用すると、落雷で感電し、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

⚠ 警告	
⊘	● ピットが冠水している場合は装置を利用しないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常降雨が予想される時は、事前にピット内の車を地上に退避させてください。
	
● 異常降雨により、雨水でピットが冠水した状態で装置を利用すると、感電し、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	
● 異常降雨により、雨水でピットが冠水し、車や装置が損傷する恐れがあります。	

▶ こんなときは・・・

ピットが冠水している場合は装置を利用せず、装置の管理者かお客様センターに連絡してください。

⚠ 警告	
⊘	<p>< 寒冷地仕様でない装置の場合 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 積雪時・凍結時は装置を利用しないでください。 <p>< 寒冷地仕様・パレットヒータ付きの装置の場合 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吹雪などで視界が悪く装置の中が確認できない状況や、ヒータの融雪能力を超える大雪の際は使用しないでください。
	
● 積雪時に装置を利用すると、雪による誤検知などで思わぬ作動をして、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	
● 積雪時に装置内に入ると、パレット上で滑って転倒し、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

⚠ 警 告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ●強い地震(震度 5 弱以上)発生後は、装置の管理者かお客様センターに連絡しサービス員の点検を受けるまで装置を利用しないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ●地震発生時はすみやかに作動を停止させて、安全な場所に避難してください。 
●強い地震の発生時に、装置からの車の落下などで、人が怪我をすることや、車や装置が損傷する恐れがあります。	

⚠ 注 意	
!	<ul style="list-style-type: none"> ●電力の供給がなくなる(停電する)と装置は作動せず、復電まで操作できません。停電中に操作キーを入ると復電まで抜けなくなる場合があります。停電中は操作キーを入れないでください。 ●作動中に停電した場合、パレットが停止した位置によって二次災害の恐れがありますので復電後も操作しないでください。装置の管理者かお客様センターに連絡し、サービス員の点検を受けてください。

■災害・異常気象・停電時の電話集中について

災害・異常気象・停電時はお客様センターに連絡が集中し、電話がつながりにくい状態になることや、要請集中・道路状況により到着までに大幅な時間を要する場合があります。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

トラブル事項	原因	対処方法
電源キースイッチを「入」にしてもタッチパネルに何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・停電 ・装置の保護回路が働いている 	装置の管理者かお客様センターに連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の操作盤が電源「入」となっている(1つの装置に操作盤が2つ以上取付いている場合) 	使用中の方が終わるまでしばらくお待ちください
	<ul style="list-style-type: none"> ・非常停止ボタンが押されている 	安全確認を行った後、非常停止ボタンを矢印の方向に回すことで、ボタンのロックを解除してください
ブザーが鳴り装置が作動しない	装置が異常状態と判断しています(パレットのオーバーラン検知、パレット受け装置の故障、電気系統の故障などが考えられます)	装置の管理者かお客様センターに連絡してください。 (表示器に出ている内容をお伝えください)
作動時に… 振れが大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> ・振れ止め装置等の故障 ・モーター等の故障 ・駆動装置等の故障 	装置の管理者かお客様センターに連絡してください。
作動時に… 今までになかった異常音がする		
作動時に… パレットやゲートが 傾いたり止まってしまう		
・電源キースイッチを「入」にすると画面に「無人確認」の表示が出てパレットの呼出しができない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源「切」時、または電源「入」にしたあとに、装置のセンサーが障害物を検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・画面に表示された、センサー検知箇所の無人確認を行った上で、画面の無人確認ボタン、またはランプが点滅している箇所の無人確認ボタンを押し、全て消灯させてください ・ランプを全て消灯させないと次の操作へ進めません ・装置内に人がいた場合、ゲートを開いて必ず退出させてください
・操作画面が消えて、「無人確認」表示に変わってしまった		

トラブル事項	原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ・無人確認ボタンを押しても次の操作へ進めない (通常より多くランプが光る) ・(押して消灯させた箇所のランプが再度点滅した) ・(すべて押した後、ゲートを閉じようとしたが、ランプが再度点滅した) 	<ul style="list-style-type: none"> ・開いているゲートの両側の無人確認ボタンが押されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプが点滅している箇所が残っていないか確認し、残っている場合はその部分の無人確認を行い、無人確認ボタンを押してランプを消灯させてください ・装置内に人がいる場合は必ず退出させてください ・装置後方や他のパレットへ立入らないでください
	<ul style="list-style-type: none"> ・入出庫に関係ない場所のセンサーを遮ったため、ゲートの両側以外の無人確認ボタン操作が必要となった 	<ul style="list-style-type: none"> ・装置内に人がいる場合は必ず退出させてください ・操作時に装置に近付きすぎないでください ・無人確認の途中や、ゲート作動開始前にセンサーを遮ってしまうと、それまでの操作が無効となります ・最初から無人確認ボタンの操作をやり直してください
	<ul style="list-style-type: none"> ・操作が必要な無人確認ボタンを全て押し終わる前にセンサーを遮った ・ゲート作動開始前にセンサーを遮った 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「センサー反応中」の表示が出て、操作が出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーが障害物を検知している 	<ul style="list-style-type: none"> ・車の停止位置がはみだしている場合は、入庫位置を修正してください ・車のサイズが制限値内か確認してください ・装置内に人がいた場合は、「ゲートを開ける」ボタンでゲートを開いて必ず退出させてください (装置の状態によっては、「ゲートを開ける」ボタンが表示されません) ・センサー付近に人や物がないか確認してください (センサーを遮ったままでは、ゲートを閉じたり、パレットを呼び出すことは出来ません)
	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーにごみ等が付着している ・センサーが汚れている ・センサーが故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・原因が明らかで対処可能な場合は除去してください ・上記以外の場合は装置の管理者かお客様センターに連絡してください。

トラブル事項	原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ・認証番号を入力し、運転開始ボタンを押しても受付けない (「O」に戻る) ・(パレットが呼出せない) ・(ゲートを閉じることができない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・認証番号が間違っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい認証番号を入力してください ◇認証番号が分からない場合は装置の管理者にお問い合わせしてください
	<ul style="list-style-type: none"> ・操作開始時に入力した番号と違う番号を入力した ・装置が途中で停止している (他の利用者が操作中に装置を停止させた) ・他の利用者が入出庫で使用中 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートを閉じる場合や、途中で停止した後の再操作には、最初の呼出し時に入力した番号と同じ番号を入力してください ・他の利用者が使用中の場合は操作できません 操作が完了するまでお待ちください ・他の利用者が見当たらない、その場を離れてしまっている場合は、装置の管理者へお問い合わせください ・他の利用者の電源キーが差し込まれている状態では絶対に操作しないでください
<ul style="list-style-type: none"> ・認証番号の入力中に数字が「O」に戻ってしまった 	<ul style="list-style-type: none"> ・番号を入力してから、しばらく何もボタンを押さなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・再度番号を入力してください ・ボタン操作は 10 秒以上間隔をあげないでください (認証番号の入力から、運転開始ボタンを押すまで)

トラブル事項	原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ・パレットやゲートが作動途中で止まってしまった ・ゲートが閉じる途中で再度開き始めた ・ゲートが動かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・装置に近付き、センサーを遮った ・ゲート完全停止前に装置内に入ろうとした ・センサーが障害物を検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・作動中は装置に近付きすぎないでください ・ゲートが完全に停止してから入庫してください ・装置内に人がいる場合は必ず退出させてください ・無人確認、安全確認後に認証番号を再度入力し、操作を継続してください →『「センサー反応中」が出て操作が出来ない』の項目も参照してください
<ul style="list-style-type: none"> ・作動開始直後、パレットの作動が反転して、元の位置まで戻ってしまった 	<ul style="list-style-type: none"> ・装置作動開始後、センサーが障害物を検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・車の停止位置がはみ出している場合は、ゲートを開けて駐車位置を修正してください (はみ出している車が他の利用者の車の場合は管理者に連絡してください。)
		<ul style="list-style-type: none"> ・車のサイズが制限値内か確認してください
	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーにごみ等が付着している ・センサーが汚れている ・センサーが故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・原因が明らかで対処可能な場合は、ゲートを開けて除去してください ・上記以外の場合は装置の管理者かお客様センターに連絡してください

トラブル事項	原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ・「後列のセンサーを検知していません」の表示が出て、操作が出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・車路パレットに駐車している 	<ul style="list-style-type: none"> ・車を後列の正しい位置に駐車しなおしてください
	<ul style="list-style-type: none"> ・後列のセンサーを遮っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・後列まで行き後列のセンサーを遮るとともに、周囲の安全を確認してください